

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立天城小学校	実践者名	小川 啓太
教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年
活用内容	倉敷市の産業	実践日	令和4年2学期
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	くらしき市をしょうかいしよう		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

- (1) 児童に倉敷市の産業について興味を持たせるため、教師がロイロノートで事前に作成した倉敷についてのプレゼンを紹介する。



- (2) 児童が興味をもった分野（産業・観光・農業等）から、自身が調べたいテーマを選択する。



- (3) インターネットを活用し、情報を収集する。

- (4) 調べたことをロイロ・ノートを活用してプレゼンにまとめる。

- ・ 毎時間カードを提出させることで内容や進捗状況を確かめられるようにする。
- ・ お互いのプレゼン資料を共有しておくことで、必要に応じて友達の資料も参考にしながら、自身のプレゼンを作成する。

- (5) プレゼンテーションを行う。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
児童は、インターネットから必要な情報を検索し、自分なりの視点を加えてスライドにまとめることができた。	(児童の様子から) どの児童も主体的に活動を進めることができた。ロイロ・ノートを活用すると、第3学年でも十分に分かりやすいプレゼンを作成できると感じた。